

主催 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究班(副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班) 難病研究資源バンク研究開発事業
 NHOネットワーク共同研究 P.H.S.I.J.2研究班
 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部

難治性副腎疾患シンポジウム

日時 2011年7月2日(土)
 13:15~17:30 (12:30 開場)
 会場 東京国際フォーラム ホールD5
 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

後援学会：日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本高血圧協会
 日本内分泌外科学会 日本泌尿器科学会 日本癌学会
 日本核医学会分科会・腫瘍免疫核医学研究会
 日本内分泌病理学会 日本医師会 (予定含む)

参加無料定員 120名

難治性副腎疾患診療の課題と新たな展開

開催責任者 成瀬 光栄 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究班 研究代表者
 柳瀬 敏彦 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 副腎ホルモン産生異常に関する調査研究 研究代表者
 開催協力 増井 徹 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 難治性疾患のための難病研究資源バンク開発研究

プログラム ※都合により一部変更となる場合がございます。

- 難治性副腎疾患の今後 三浦幸雄 労働者健康福祉機構 東北労災病院 院長
 13:20-13:30 わが国の難治性疾患対策の現状 厚生労働省 疾病対策課
- 13:30-14:35 **Session 1** 褐色細胞腫
 座長 平田結喜緒・方波見卓行 (発表8分+質疑5分)
- ¹²⁵I-MIBGシンチの診断的意義と課題 金沢大学 絹谷清剛
 - SDHB免疫染色の診断的意義 国立病院機構 函館病院 木村伯子
 - 分子標的治療の最新の動向 東京女子医科大学 田辺晶代
 - 疾患レジストリー-PHEO-Jの現状 NHO京都医療センター 成瀬光栄
 - 血中遊離メタネフリンの診断的意義 筑波大学 竹越一博
- 14:35-15:05 **Session 2** 難治性疾患拠点研究の動向
 座長 成瀬光栄 (発表10分+質疑5分)
- 難治疾患対策における遺伝子集中解析 国立国際医療研究センター 加藤規弘
 - 副腎資源バンクの今後の展開 (独)医薬基盤研究所 増井 徹
- 15:05~15:20 休憩 15分
- 15:20-17:05 **Session 3** 原発性アルドステロン症
 座長 柳瀬敏彦・成瀬光栄 (発表8分+質疑5分)
- ▶ レクチャー PA診療の課題 東京医科歯科大学 名誉教授 平田結喜緒
- 機能確認検査の現状と課題 慶応義塾大学 柴田洋孝
 - サンプリングにおける迅速コルチゾール測定 金沢大学 米田 隆
 - サンプリングにおけるACTH負荷の意義 東京女子医科大学 田辺晶代
 - 超選択的サンプリングの診断的意義 横浜労災病院 大村昌夫
 - CYP11B2免疫染色の診断的意義と課題 慶応義塾大学 向井邦晃
 - PA病診連携マップの構築 東北大学 佐藤文俊
 - PAガイドラインの課題 横浜労災病院 西川哲男
- ▶ 総括 PA診断の現状と今後 NHO京都医療センター 成瀬光栄
- 17:20-17:30 まとめ 閉会の挨拶 柳瀬敏彦・成瀬光栄

お問い合わせ先 シンポジウム2011開催事務局 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内 開催事務局 担当 梅垣 〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 TEL:075-645-8401(内線6137) FAX:075-645-8409 E-Mail: pa_endo_office@yahoo.co.jp

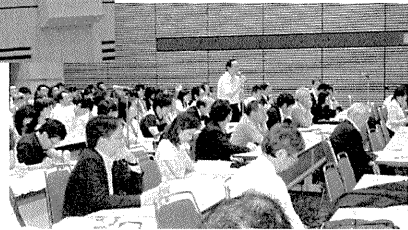
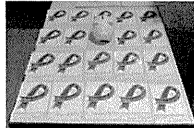
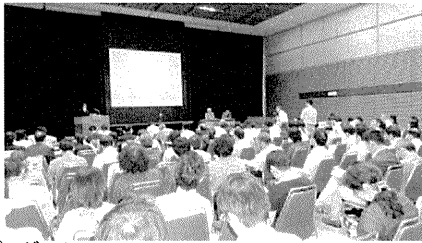
主催 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究班/ 副腎ホルモン産生異常に関する調査研究班/
 難病研究資源バンク研究開発事業・国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部・NHOネットワーク共同研究 PHAS-J2 研究班
 後援学会 日本内分泌学会 日本高血圧学会 日本高血圧協会 日本内分泌外科学会 日本泌尿器科学会 日本産婦人科学会 日本核医学会分科会 難病免疫疫学研究会
 日本内分泌病学会 日本医師会

難治性副腎疾患シンポジウム報告

開催日 2011年7月2日(土)
 会場 東京国際フォーラム ホールD5

開催責任者
 成瀬 光栄 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究班 研究代表者
 柳瀬 敏彦 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 副腎ホルモン産生異常に関する調査研究 研究代表者
 増井 徹 厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業 難治性疾患のための難病研究資源バンク開発研究

平成23年7月2日(土)東京国際フォーラム(ホールD5)にて、厚生労働省科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業の3班が共催し、新しい難病対策事業の一環としてシンポジウムを開催致しました。定員を上回る約170名の医師及び医療関係者にご来場いただきました。



プログラム

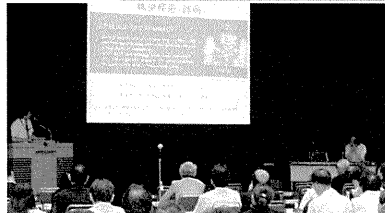
- 難治性副腎疾患の展望 労働者健康福祉機構 東北労災病院 院長 三浦幸雄
 わが国の難治性疾患対策の現状 厚生労働省 疾病対策課 高永生代
 Sssion1 褐色細胞腫 座長 平田結喜緒 (東京医科歯科大学)
 方波昂貞行 (聖マリアンナ医科大学)
 1. ¹²³I-MIBGシンチの診断的意義と課題 会沢大学 絹谷清剛
 2. SDH免疫染色の診断的意義 国立病院機構 函館病院 木村信子
 3. 分子標的治療の最新動向 東京女子医科大学 田辺晶代
 4. 疾患レジストリー-PHEO-Jの現状 NHO京都医療センター 成瀬光栄
 5. 血中遊離メタネフリンの診断的意義 京大大学 竹越一博
 Session2 難治性疾患拠点研究の動向 座長 成瀬光栄
 1. 難治性疾患対策における遺伝子集団解析 国立国際医療研究センター 加藤弘朗
 (3名) 医療薬学研究所 増井 徹
 2. 副腎資源バンクの今後の展開
 Session3 原発性アルドステロン症 座長 柳瀬敏彦(福岡大学)・成瀬光栄
 平田結喜緒
 キーノートレクチャー PA診療の課題 慶応義塾大学 塚田洋孝
 1. 機能確認検査の現状と課題 会沢大学 米田 謙
 2. サンプリングにおける迅速コルチゾール測定 東京女子医科大学 田辺晶代
 3. サンプリングにおけるACTH負荷の意義 横浜労災病院 大村昌夫
 4. 超選択的サンプリングの診断的意義 慶応義塾大学 向井邦亮
 5. CYP11B2免疫染色の診断的意義と課題 東北大学 佐藤文俊
 6. PA病診連携マップの構築 横浜労災病院 吉川望男
 7. PAガイドラインの課題 NHO京都医療センター 成瀬光栄
 総括 PA診療の現状と今後
 まとめ 閉会の挨拶 柳瀬敏彦・成瀬光栄

Session 1 褐色細胞腫



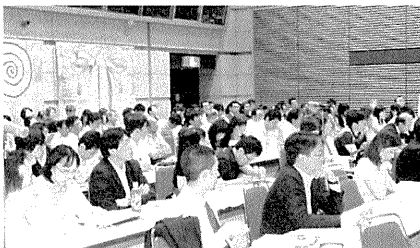
褐色細胞腫の最新の診療を各診療科専門医師より充実した内容でご講演頂きました。稀少難治性疾患の取り巻く現状とその課題について、ご参加頂きました先生方と活発に討議、意見交換することができました。

Session 2 難治性疾患拠点研究の動向



海外における難治性疾患研究及び診療の動向と、またわが国での新しい難治性疾患における橋渡し研究の一モデル事業として「副腎資源バンク」について紹介致しました。

Session 3 原発性アルドステロン症



東京医科歯科大学名誉教授の平田結喜緒先生をお招きし「PA診療の課題」についてご講演頂きました。講演者自施設での診療の実際を日常診療での体験を交え詳しくお話しして頂きました。



シンポジウム2011開催事務局 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内
 〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1 TEL: 075-645-8401(内線6137) FAX: 075-645-8409 E-Mail: pa_endo_office@yahoo.co.jp

共催 日本患者会『褐色細胞腫を考える会』
米国患者会『Pheo Para Trooper』

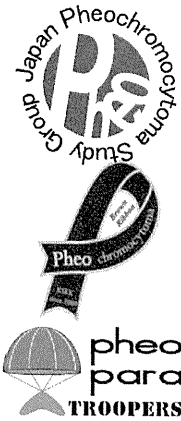
国際連携元年

第1回日米合同シンポジウム
1st Japan-U.S. Joint Symposium

褐色細胞腫制圧と日米パートナーシップ



Japan-US Partnership for Pheochromocytoma

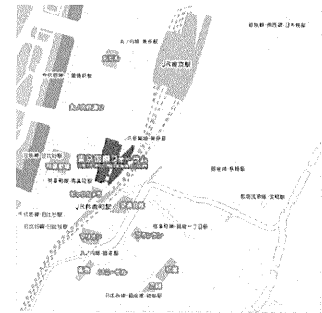


参加費無料
定員 100名

申込: FAXまたはE-mailにて事務局まで

日時 2011年12月10日(土) 17:00~19:00 (受付開場 16:30~)

会場 東京国際フォーラム ホールD1
Tokyo International Forum
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号



後援 日本高血圧学会 日本高血圧協会 日本内分泌外科学会 日本医師会 日本癌治療学会
アメリカ大使館 ハンガリー大使館

開催協力 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部
厚生労働省難治性疾患克服研究事業「褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究」班
厚生労働省難治性疾患克服研究事業「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」
協賛 協和発酵キリン(株)、富士フイルムRIファーマ(株)

総合司会 及川 信(褐色細胞腫を考える会 代表)

成瀬光栄(「褐色細胞腫」研究班 研究代表者)

Special Guest Amy Pitzer (Pheo Para Trooper, USA)

プログラム・program

- ① Opening Address (5min) 及川 信(Shin Oikawa)
はじめに (5min) 成瀬光栄(Dr. Mitsuhide Naruse)
(5min) ウィリアム・ヤング先生 米国メイヨクリニック
(Prof. William F. Young Jr.)
- ② Pheo Para Trooper (45min) Ms. Amy Pitzer
米国の患者会の活動
- ③ Pheochromocytoma patient Group in Japan (10min) 及川 信(Shin Oikawa)
日本の患者会の活動
- ④ Management of pheochromocytoma in Japan (10min) 成瀬光栄
わが国における褐色細胞腫対策
- ⑤ Q and A (30min) 及川、高橋、立松(考える会)、Ms. Amy Pitzer(Pheo Para Trooper)
討論会 竹越一博先生(筑波大学)「遺伝子診断における基本的なスタンスと“Knowledge is power.”」(10min)
立木美香先生(京都医療センター)
- ⑥ DECLARATION (10min) 及川 信(考える会)、Ms. Amy Pitzer(Pheo Para Trooper)
共同宣言

Closing

Chorus “Sukiyaki Song”

合唱「上を向いて歩こう」
ギター演奏 考える会

褐色細胞腫シンポジウム開催事務局

国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内 〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

TEL:075-645-8401(内線6137) FAX:075-645-8409 E-Mail: keumegak@kyotolan.hosp.go.jp (担当 梅垣)

共催 日本患者会『褐色細胞腫を考える会』
米国患者会『Pheo Para Trooper』

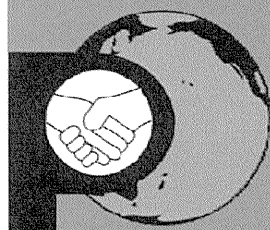
第1回日米合同シンポジウム 京都

1st Japan-U.S. Joint Symposium in Kyoto

褐色細胞腫制圧と日米パートナーシップ

Japan-US Partnership for Pheochromocytoma

国際連携元年



Pheo Japan and US
Patients Group
Supported by PHEO-J (board certified
specialist group)
Since 2011



参加費無料
定員 20名

申込: FAXまたはE-mailにて事務局まで

日時 **2011年12月11日(日)** 14:00~17:00 (受付開場 13:00~)

会場 **京都市国際交流会館 (和風別館)**

KYOTO CITY INTERNATIONAL FOUNDATION (KOKAN)

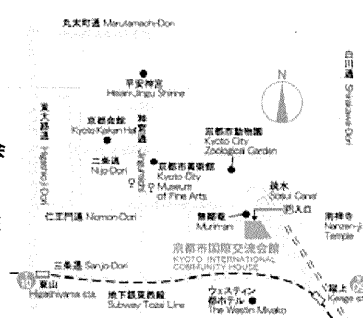
京都市左京区栗田口鳥居町2番地の1

後援 日本高血圧学会 日本高血圧協会 日本内分泌外科学会 日本医師会 日本癌治療学会
アメリカ大使館 ハンガリー大使館(予定含む)

開催協力 国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部
厚生労働省難治性疾患克服研究事業「褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究」班
厚生労働省難治性疾患克服研究事業「副腎ホルモン産生異常に関する調査研究」
協和発酵キリン(株)、富士フィルムRIファーマ(株)

総合司会 及川 信(褐色細胞腫を考える会 代表)

Special Guest Amy Pitzer (Pheo Para TROOPERS, USA)



プログラム・program

- 0 13:00~14:00 褐色細胞腫を考える会 関西交流会 (会員以外もご参加下さい)
- 1 14:00~15:00 お茶会 (日米交流イベント)
- 2 15:00~16:00 米国 褐色細胞腫患者会 の活動 Ms. Amy Pitzer
(通訳 あり)
- 3 16:00~17:00 意見交換 ・遺伝子解析について・私達のできる事、すべき事 など
(通訳 あり)
- 4 18:00~20:00 米国 褐色細胞腫患者会 (PheoPara TROOPERS) 歓迎会

近隣の飲食店に会場を移動予定
京都医療センター 成瀬先生方の参加を予定

褐色細胞腫シンポジウム開催事務局

国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内 〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町1-1

TEL:075-645-8401(内線6137) FAX:075-645-8409 E-Mail: keumegak@kyotolan.hosp.go.jp (担当 梅垣)

VII パートナーシップ

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業

褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究

平成 23 年度 総括・分担研究報告書

発行 平成 24 年 3 月

厚生労働科学研究費補助金
難治性疾患克服研究事業

褐色細胞腫の診断及び治療法の推進に関する研究

研究代表者 成瀬 光栄

国立病院機構 京都医療センター 内分泌代謝高血圧研究部内

〒612-8555 京都市伏見区深草向畑町 1-1

電話 075-641-9161 (代表)

印刷 プレンティグローバルリンクス株式会社

本書の内容の一部あるいは全部を無断で複写、複製、利用することは固くお断りします。

